

機械器具 74 医薬品注入器  
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

## ジェイフィード注入器

### 再使用禁止

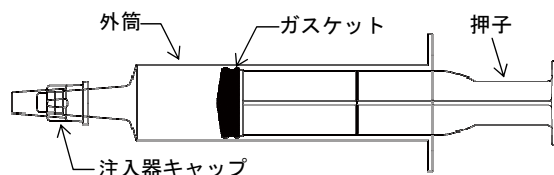
#### 【禁忌・禁止】 再使用禁止

#### 【形状・構造及び原理等】

本品は、外筒、押子、ガスケットからなる。また、先端に注入器キャップを有する製品もある。

先端は静脈ライン等のメスルーテーパに接続できない誤接続防止の形状となっている。

〈構成(代表例)〉



- ・公称容量は以下のものがある。  
1mL、2.5mL、5mL、10mL、20mL、30mL、50mL、100mL
- ・本品は以下の原材料を使用している。

| 構成部品  | 原材料        |
|-------|------------|
| 外筒    | ポリプロピレン    |
| ガスケット | 熱可塑性エラストマー |

〈仕様〉

| 項目  | 公称容量 (mL)   | 圧力 (kPa) |
|-----|-------------|----------|
| 耐圧性 | 1, 2.5      | 392      |
|     | 5           | 343      |
|     | 10          | 294      |
|     | 20          | 245      |
|     | 30, 50, 100 | 196      |

#### 【使用目的又は効果】

本品はカテーテルなどに接続し、栄養剤などを注入するために用いる。

#### \*【使用方法等】

1. 注入器キャップなしの場合
  - (1) 包装から本品を取り出します。
  - (2) 押子を先端まで押し、外筒の空気を完全に押し出します。
  - (3) 栄養剤等を吸引します。
  - (4) カテーテル等に接続し、栄養剤等を注入します。
2. 注入器キャップ付きの場合
  - (1) 包装から本品を取り出します。
  - (2) 注入器キャップを回転させながら外します。
  - (3) 押子を先端まで押し、外筒の空気を完全に押し出します。
  - (4) 栄養剤等を吸引します。
  - (5) 栄養剤等を注入器に入れた状態で一時的に保管する際は、注入器キャップを回転させながら注入器の先端にしっかりと装着します。
  - (6) 注入する際は、注入器キャップを回転させながら外し、使用します。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 固形物を含む、又は固まりやすい栄養剤等を注入する場合は、外筒先端が詰まるおそれがあるので注意すること。

\*2. 接続部に横方向の力を加えないこと。[液漏れ、空気混入が生じ

るおそれがある。]

3. 接続部に栄養剤等が付着した場合は、栄養剤等をふきとり、接続すること。[接続部に緩みが生じる。]
  4. 押子を引く際は次の事項に注意すること。
    - (1) 外筒印刷部の目盛を越えて引かないこと。[押子が外筒から外れ、液漏れが生じるおそれがある。]
    - (2) 押子をまっすぐゆっくり引くこと。[強く引く、ねじりながら引いた場合は、外筒との密着性が低下し、液漏れやガスケットの外れが生じるおそれがある。]
  5. 外筒部を強く握る等、圧迫するような力を加えないこと。[ガスケットと外筒との密着性が低下し、液漏れ、空気混入が生じるおそれがある。]
  6. 外筒印刷部については次の事項に注意すること。
    - (1) 目盛を強くこすらないこと。[目盛が消えるおそれがある。]
- \* (2) 栄養剤等が付着した状態で放置しないこと。[目盛が剥離するおそれがある。]

#### 【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は破損、接続部の緩み及び液漏れ等について確認すること。
2. 本品に衝撃を与えないこと。[破損するおそれがある。]
3. 冷蔵保存等低温下での取扱いに注意すること。[低温下では本品の耐衝撃性が低下する。また、栄養剤等が固化し、先端等が詰まるおそれがある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合  
空気混入、漏れ、外れ、緩み、印刷消え、破損、詰まり

#### 【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年 [自己認証(当社データ)による]  
包装の使用期限欄を参照すること。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者  
株式会社ジェイ・エム・エス  
電話番号：082-243-5806